

令和５年度 第１回奈良市移動等円滑化促進協議会会議録				
開催日時	令和５年８月２５日（金）１４時３０分から１６時まで			
開催場所	奈良市役所 中央棟地階 B１会議室			
出席者	委 員	三星委員、室崎委員、島田委員、松本委員、江崎委員、元山委員、金野委員、紀平委員、高松委員（代理）、川嶋委員、西本委員、服部委員（代理）、玉垣委員（代理）、小畑委員（代理）、西田委員、植谷委員（代理）、嵯峨委員、田上委員(代理)、梅田委員 【計１９人出席】 【欠席】矢野委員、高橋委員、山本委員、岡田委員、釈迦戸委員、真木委員		
	事務局	都市整備部：森田理事 交通バリアフリー推進課：藤田課長補佐、西窪主任、吉村主事		
開催形態	公開（傍聴人 ２人）	担当課	都市整備部 交通バリアフリー推進課	
議 題 又は 案 件	・奈良市バリアフリー基本構想の改定について ・奈良市踏切道バリアフリー推進ワーキンググループの開催状況について			
決定又は取り 纏め事項	・奈良市バリアフリー基本構想の改定について、３地区の重点整備地区（JR 奈良駅・近鉄奈良駅周辺地区、近鉄新大宮駅周辺地区、JR 平城山駅周辺地区）で検討を進めることに対して承認を得た。 ・第２回奈良市踏切道バリアフリー推進ワーキンググループにおける取組みの方針について承認を得た。			
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等				
1. 開会・あいさつ				
2. 議題				
(１) 奈良市バリアフリー基本構想について				
①奈良市バリアフリー基本構想の改定について				
三星委員				
・当協議会の前身である奈良市バリアフリー基本構想策定協議会での議論を踏まえ、現在の「奈良市バリアフリー基本構想」を策定した経緯がある。来年度以降も、「奈良市バリアフリー基本構想」によって整理した整備項目等の整備状況について定期的に見直す必要がある。それと併せて、その都度、最新の社会情勢等を基本構想へ反映させる必要がある。				
事務局				
・本日の協議会で今年度設定する重点整備地区（３地区）を決定し、検討を進める。現地点検やワークショップの開催、庁内検討会を経て、整備メニューの整理や施設管理者等との調整を実施することを想定している。整備内容が整理できた段階（現時点では１２月下旬頃を予定）で、				

第2回奈良市移動等円滑化推進協議会の開催を予定している。その後、パブリックコメントを実施し、でてきた意見を踏まえ、「奈良市バリアフリー基本構想」を改定する。なお、作業状況に応じてスケジュールが変更になる可能性があることについてご了承いただきたい。

- ・現地点検、ワークショップの開催について、委員の皆様及び団体関係者の方々にご参加いただきたいと考えている。開催時期は10月中旬頃を予定している。日程やご参加いただきたい団体、人数等につきましては、改めてご相談させていただきたい。

②重点整備地区について

事務局

- ・当事者や障害者団体等へのヒアリング結果、地域住民からの要望等を踏まえ、今年度は以下3地区について重点整備地区を設定することを想定している。なお、各地区の見直しや設定の方向性については、あくまでも現時点での事務局案であり、検討を進めていく中で変更になる可能性がある。

- ・JR 奈良駅・近鉄奈良駅周辺地区（見直し）
- ・近鉄新大宮駅周辺地区（新規）
- ・JR 平城山駅周辺地区（新規）

三星委員

- ・福祉分野におけるバリアフリーの対象者は、障害者手帳保持者のことを一般的に指す。しかし、バリアフリーの対象者は、障害者手帳を保持していない高齢者等も含めるべきである。
 - ・今年度の重点整備地区の設定について、事務局案の3地区で検討を進めるということで良いか。
- ⇒委員から異議無し（承認）

金野委員

- ・「奈良市バリアフリー基本構想」の改定における、長期的なスケジュールや将来の展望について現時点で決まっていること等ございましたら教えていただきたい。

事務局

- ・次年度以降の予定については現在、庁内で調整を図っているため現時点では明言できない。委員の皆様や、今後実施予定の庁内検討会議において関係部局からの意見を踏まえ、総合的に判断していきたい。

三星先生

- ・公共施設が集中して立地しているところや、人数が集まる場所、高齢者が集まる場所等（福祉施設等）を優先的に重点整備地区として設定し、検討を進めるのが一般的である。その他、奈良市特有の資源（寺社仏閣や公園等）についてもバリアフリー化を検討していく必要がある。また、重点整備地区は駅及びその周辺である必要もない。

事務局

- ・今後、まちづくりの観点においても、県市で連携を図りながら検討を進めていく予定であり、それを踏まえ、「奈良市バリアフリー基本構想」の検討を進めていきたい。

金野委員

- ・JR 新駅についても、重点整備地区の設定に含めるという認識で間違いないか。

事務局

- ・市内全域を対象に基本構想を策定していくことを想定している。そのため、ご認識のとおりで相違ない。

三星先生

- ・過年度に「奈良市バリアフリーマスタープラン」を策定しており、JR 新駅についても位置づけられている。

元山委員

- ・資料 1－1 の 2 頁、「基本構想の位置づけ」では、「奈良市次世代育成支援行動計画（後期計画）」が関連計画として整合を図る必要のある計画として整理されている。そのため、障害者や高齢者だけでなく、子育て世代等の次世代も対象に含めたうえで検討を進めていく必要があるのではないかと考える。しかし、4 頁の「2. 奈良市の概況」では、それに対応する分析がされていない。少子化や子育てに関する現況、就労女性の変化等に関する分析も追加することが望ましいのではないか。

事務局

- ・資料 1－1 については、前回の「奈良市バリアフリー基本構想」を踏襲する形で作成している。今回、ご指摘いただいた内容を踏まえ、「2. 奈良市の概況」の内容を精査する。なお、追加した情報等については、第 2 回奈良市移動等円滑化推進協議会にて共有させていただきたい。また、庁内検討委員会においても子育て世代を踏まえた検討の必要性について説明し、関連計画と整合性のとれた検討を進めていきたい。

元山委員

- ・バリアフリー化において、高齢者のニーズと子育て世代のニーズは似ている部分がある。そのため、現地点検やワークショップ等において、そのような方々にも参加いただくと良いのではないか。

三星委員

- ・乳児もバリアフリーの対象である。そのため、元山委員のご指摘のとおり、子育て世代へのバリアフリー化（オムツや授乳所を公的あるいは民間で整備を進めていく等）についても、当事者の意見を踏まえたうえで、検討を進めていくことが望ましい。

事務局

- ・今後、まちあるき点検調査を実施させていただくにあたって、自治会の方にご協力いただき、地域住民にご参加いただくことを予定しているが、子育て世代への声かけをどのようにしたら良いか。

元山委員

- ・特定の子育て世代の方へ声かけをすることは難しい。自治連合会の協力を仰ぎながら声かけをしていくのが望ましいのではないかと。特に JR 平城山駅周辺地区には子育て世代の方が多数いらっしゃるかと認識している。その他、学校や保育園、幼稚園をお願いしてみても良いのではないかと。

金野委員

- ・小学生以下の子育て世代を対象とする方が良いのではないかと。子ども政策課やはぐくみセンター等、子育て支援施設から情報（子どもセンターの利用者情報等）をご提供いただき、まちあるき点検調査への参加のお願いをするのも 1 つの手段ではないかと。

三星先生

- ・バリアフリー化に対する、子育て世代が感じる課題等を把握するために、ヒアリングを実施してみるのも良いのではないかと。

川嶋委員

- ・JR 平城山駅について、駅の構造上、駅構内外ともにバリアフリー化が進んでいないという現状がある。今年度、重点整備地区を設定するにあたって、事務局と相互調整を図りながらバリアフリー化に向けた実現可能な検討を進めていきたいと考えている。

室崎委員

- ・資料 1－1 の 11 頁～16 頁の各駅の構造、バリアフリー化対応について、現在の「奈良市バリアフリー基本構想」策定以降の、整備の進捗が分かるように整理できると良い。

三星先生

- ・LGBTQ や知的精神発達障害の方に向けたバリアフリー化について、今回の「奈良市バリアフリー基本構想」に位置付けるのか。

事務局

- ・庁内検討会議において、関係部局が実施している LGBTQ や知的精神発達障害に対する取り組み等と整合を取りながら、検討を進めていきたい。

三星先生

- ・男女共用トイレの設置の有無や、設置の可能性等について、当事者へのヒアリングやワークショップを通じてニーズを把握できると良いのではないかな。

三星先生

- ・「奈良市バリアフリー基本構想」について、このような考え方で検討を進めるということが良いかな。

⇒委員から異議無し（承認）

（２）奈良市踏切道バリアフリー推進ワーキンググループの開催状況について

事務局

- ・令和５年８月８日に、奈良市踏切道バリアフリー推進ワーキンググループを開催し、２４名（三星委員、当事者、鉄道事業者、道路管理者、アドバイザー）の方にご参加いただいた。
- ・奈良市踏切道バリアフリー推進ワーキンググループでは、踏切内の点字ブロックの形状を焦点に検討を進めている。
- ・１０月２日（月）～１０月６日（金）に第２回奈良市踏切道バリアフリー推進ワーキンググループを開催し、踏切内点字ブロックの試作品の体験会を実施する予定である。体験会では、点字ブロックの形状だけでなく、高さについても体験していただき、障害者だけでなく、ベビーカー利用者等、多くの参加者の方から意見を聴取し、検討の参考にしたいと考えている。また、点字ブロックの色の違いについても、参加者から意見を聴取したいと考えている。

三星先生

- ・他市町の事例等を踏まえ、踏切に入る前、あるいは出た後の道路（歩道）上の点字ブロックのほか、踏切内の点字ブロックについて試作品を作成し、庁舎内で体験会を実施する。
- ・草竹コンクリート工業株式会社は、点字ブロック開発の大手事業者であり、開発段階において大いに技術力を発揮していただけたと思う。

島田委員

- ・点字ブロックは何が最適案か決定するのは難しい。視覚障害者の見え方も様々であるため、多様なニーズに対応した「奈良市バリアフリー基本構想」の検討を進めていきたい。
- ・点字ブロックの作成にあたっては、線の太さや点の大きさ、色等、幅広い検討を進めていく必要がある。多くの人にとって分かりやすい点字ブロックができるようにしていきたい。

金野委員

- ・すばらしい企画だと思う。参加者への呼びかけや、広報についてはどのように考えているのか。また、高齢者や障害者、関係団体や子育て世代への呼びかけをする予定はあるのか。
- ・自治連合会の役員会に、事務局に出席いただき、体験会への参加を呼びかけしていただいても良いのではないかな。

事務局

- ・関係団体への呼びかけは実施する予定である。多くの人へ参加していただくためにも、自治連合会の役員会でも声掛けをさせていただきたい。

金野委員

- ・当事者等、より多くの方にご参加いただくためにも、市役所へ来庁される方だけではなく、事前に関係団体への広報活動をしっかりとすべきである。

三星会長

- ・奈良市踏切道バリアフリー推進ワーキンググループにおける取組みについて、このような方針で良いか。

⇒委員から異議無し（承認）

4. 情報交換、自由討論

江崎委員

- ・自走式の車いすについて、以前は大きなタイヤを使用したものが多くみられたが、最近は自転車程のタイヤのものも多い。奈良市は坂道が多く、歩道の段差等の整備状況もあまり進んでおらず、自走式の車いすの利用者の中には、外出したくても外出しづらいと感じている方もいる。そのため、車いすの利用者にも配慮したハード面の整備を進めてほしい。

三星先生

- ・江崎委員のご指摘のとおり、奈良市の歩道環境は車いすの利用者にとっては、決して良いとは言えない。

松本委員

- ・会った人と自然に手話で会話ができるまちづくりを進めていただくことが、聴覚障害者協会としての希望である。手話を教える教室を開催するだけではなく、自然と手話で会話・コミュニケーションがとれるようなまちになれば良い。

室崎先生

- ・本日の振り返りとして、1つ目の議題である「奈良市バリアフリー基本構想」について、重点整備地区の3地区における事務局案について、委員の皆様に承認いただいた。
- ・また、今後の長期的なスケジュールや展望はどうなのかという意見もあったが、今後、庁内で検討を進めていくということで合議した。
- ・さらに、今回の計画策定の中では、子育て世代についても着目していくことが必要なのではないかという意見があり、今後、計画に反映していくということで合議した。
- ・その他、LGBTQや知的精神発達障害の方たちへの視点についても、今後、議論していく必要があるということであった。
- ・2つ目の議題である奈良市踏切道バリアフリー推進ワーキングについて、奈良市独自の点字ブ

ロックを検討するにあたって、試作品の体験会の実施も含めて検討を進めていくということであった。素晴らしい取り組みだと思うので、引き続き進めてほしい。

- ・参加者の呼びかけについては、できるだけ多くの方にご参加いただけるように、奈良市だけではなく、委員の方々にも呼びかけをしていただく、ということであった。

5. 閉会・あいさつ